

ママパパ ひるは ①

子どものいる家庭を、大学生が訪れ子育てを学ぶ「一日パパ・ママ体験！～大学生の子育て家庭訪問」事業。兵庫県と神戸新聞子育てクラブ「すきっぷ」が昨年からはじめ、2年目の今年は規模と内容を拡充しました。現在、参加学生を募集しています。

少子化、核家族化が進み、若者の育児に対する不安が増す中、「社会に出る一歩手前の大学生が、家庭、子育ての具体的なイメージを抱き、同世代に伝えてほしい」（県こども政策課）と取り組んでいます。

学生は2人一組で、決められた家庭を訪問。購入したおもちゃ（上限3500円）で子どもと遊び、時には抱っこや食事のお世話もします。お互い最初は戸惑いがちですが、

大学生が子育て家庭訪問



訪問先の家庭で子どもと触れ合う
大学生＝神戸市内

すぐに打ち解け、仲良くなります。

昨年は、3大学から男女21人が参加。今年は7大学に増え、参加者も100人が目標です。活動をまとめた冊子の発行やシンポジウムも計画しており、開設するホームページ（HP）では、レポートなどで学生の

奮闘ぶりを紹介していきます。

「子育ての大変さだけでなく、楽しさも感じた」「抱っこやあやし方を体験し、子どもとどう接したらよいのかを学べた」。わずか数時間の活動ですが、大学生の意識の変化には目を見張るものがあります。学生とお子さん、今年はどんな成長が見られるか。楽しみに見守りたいと思います。

HPは、すきっぷサイトのトップページ下部から入ることができ、学生の参加も受け付けています。

（パートナーセンター 篠原佳也）

神戸新聞子育てクラブ

すきっぷ



◆上のQRコードを読み取ると、「すきっぷ」のサイトにアクセスできます。